



# 浅江小だより

令和4年度 臨時号  
光市光ヶ丘2番10号  
TEL (0833)72-0039  
令和4年10月7日

～あかるく さわやかに えがおで そしてたのしく～

<http://blog.canpan.info/asae-e/> 光市立浅江小学校 校長 和田 明俊

## 令和4年度 7月末学校評価アンケートのまとめ

保護者の皆様には、7月末学校評価アンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。昨年度よりも多い70%を超える保護者の皆様方にご回答いただき、感謝いたします。この評価結果を下記のとおり、4点にまとめて分析しました。後期からの学校運営に生かして参りたいと思います。

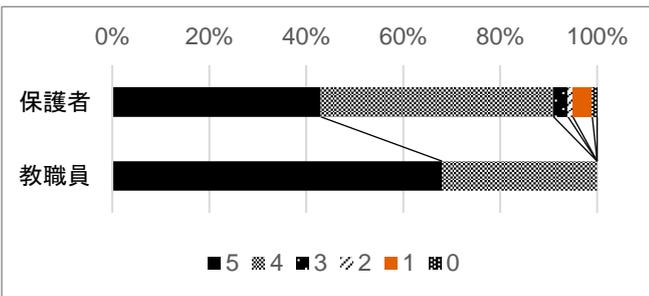
【グラフの見方について】

5・・・とてもそう思う 4・・・そう思う 3・・・あまり思わない 2・・・ほとんど思わない 1・・・分からない 0・・・無回答

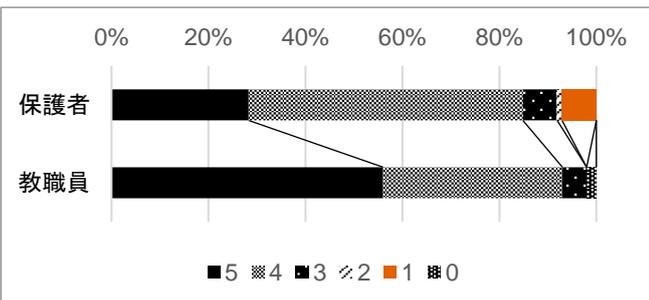
※評価5及び4を「肯定的評価」、評価3及び2を「否定的評価」としています。

### 1 あさなえネットの取組が生きた評価結果

①学校・地域連携カリキュラムを基に、家庭・地域・学校が一体となった教育活動を展開しながら、子どもの様子や教育活動の情報を発信し、共有できている。



②学校の教育方針や活動方針等を踏まえ、学校・家庭・地域の連携・協働による取組に積極的に関わっている。

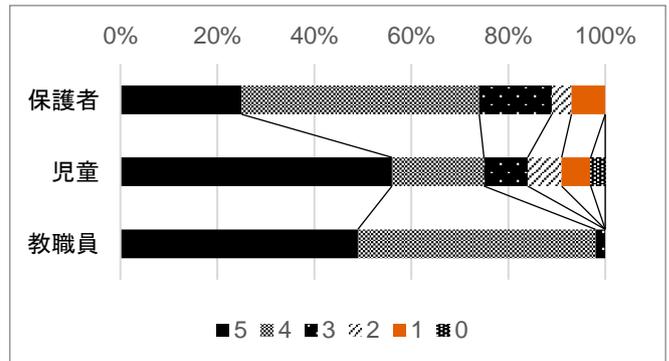


①②とも、保護者の皆様の肯定的評価が80%を大きく超えるものでした。これは、浅江小独自の学校地域連携活動に加えて、保護者の皆様が、それぞれの立場に応じたPTA活動に積極的に関わってくださっている成果だと考えます。今後さらに、子どもたちが多くのつながりの中でより成長できるように、家庭・地域・学校が一体となった教育活動を推進し、その情報を発信しながら活動の充実を図っていきます。



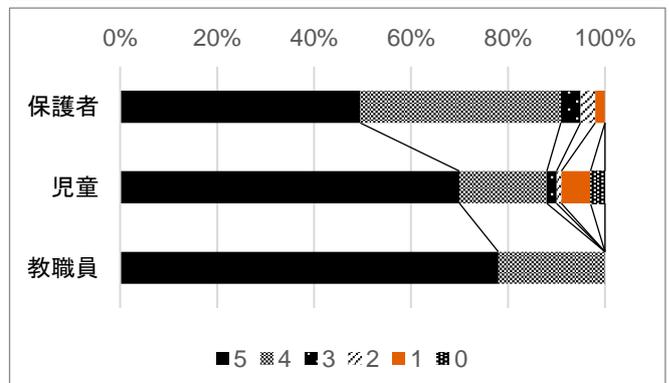
### 2 取組の成果が見られる評価結果

①読書の習慣が身に付くように取り組んでいる。



読書活動については、保護者・児童ともに肯定的評価が70%を超え、昨年度までよりも大きく上がりました。タブレット端末を用いた読書記録の保存がよい影響を与えていると思われます。児童の本との関わりがさらに広がっていくように、さらに取組を推進していきます。

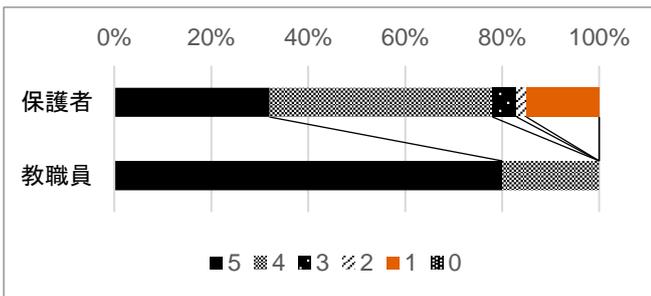
②子どもの安心・安全に配慮した登下校に取り組んでいる。



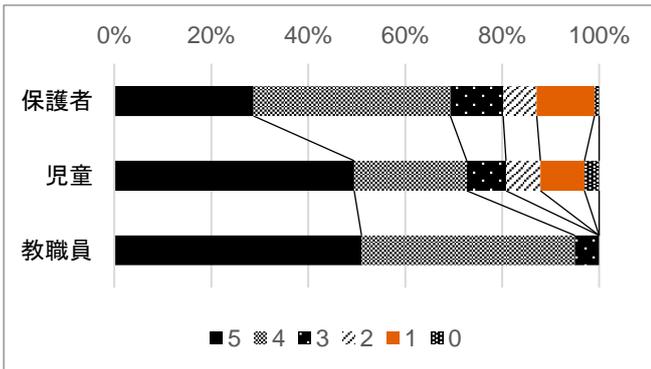
保護者・児童ともに80%を大きく超える肯定的評価となりました。交通安全担当を中心に登校時・下校時の見守り指導を強化している成果と言えます。また、地域・保護者の見守りボランティアの方々のご支援のおかげとも言えます。登下校の課題を一つひとつ改善しながら取組を進めています。

### 3 取組の課題が見られる評価結果

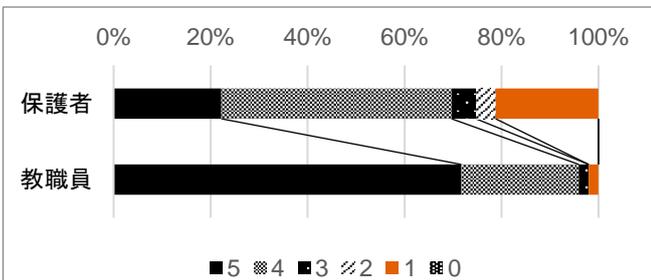
①学校は、浅江中との一貫教育を進め、「15歳の浅江っ子像」の育成に努めている。



②上級生や中学生になることを楽しみにしたり、上級生や中学生にあこがれをもったりしている。



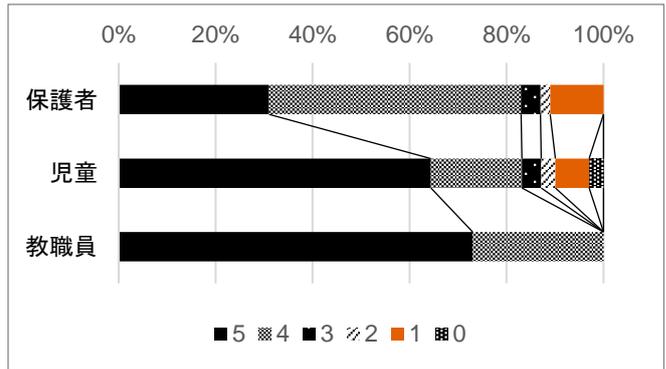
③浅江中との一貫教育を意識し、つながりのある教育活動を実践している。



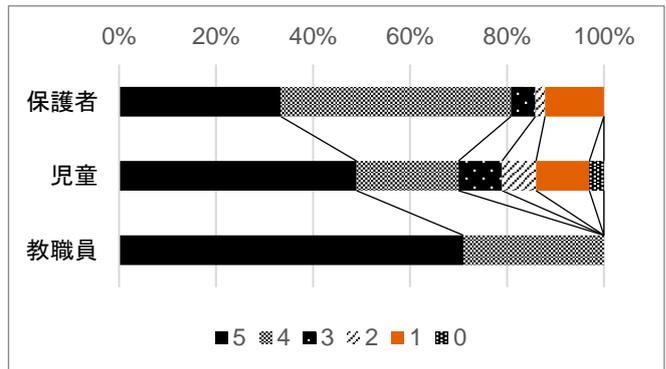
①②③は小中一貫教育の取組に関する項目ですが、「分からない」という回答が20%を超えたり、保護者の方々と教職員との意識のズレが大きかったりするものばかりです。この一貫教育については、今後、取組を具体的に進めていく必要があります。保護者や地域住民の皆様の声をしっかり受け止めながら推進していきますので、ご意見やご要望をぜひお聞かせください。



④家庭・地域と連携しながら、いじめのない学校・学級づくりに取り組んでいる。

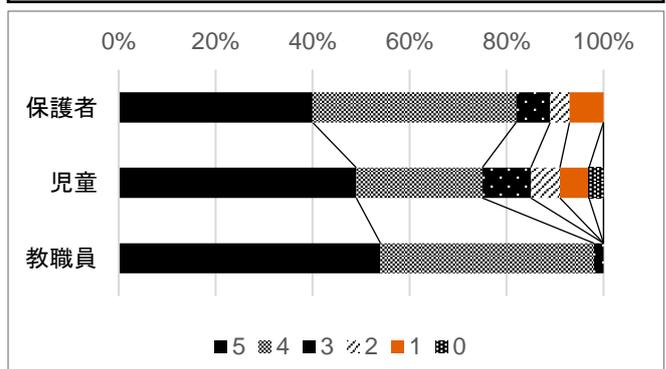


⑤一人ひとりの子どもを大切にされた教育相談に取り組んでいる。



④いじめの項目では保護者・児童とも20%程度が、⑤教育相談の項目では20～30%程度が、否定的評価・「分からない」・無回答という結果でした。いじめ等の問題は、とにかく速く、そして丁寧に対応していくことが求められます。保護者の皆様・地域の方々と情報共有を密にしながら、これら問題に真摯に取り組んでいきます。

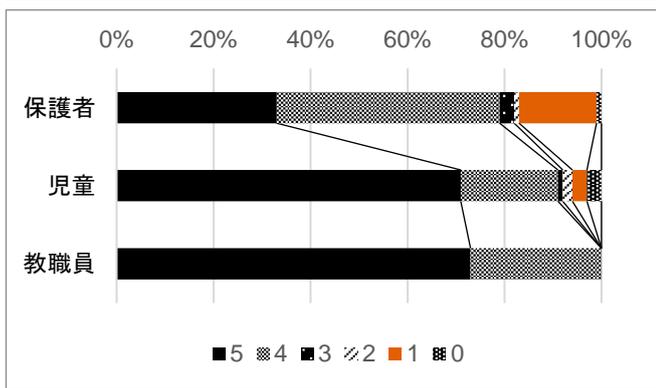
⑥子どもが進んであいさつをできるように取り組んでいる。



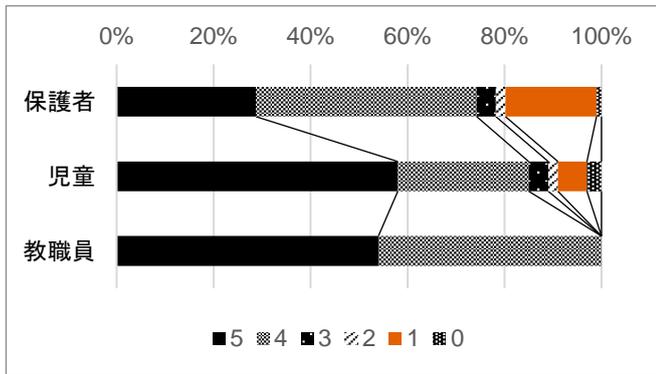
あいさつについては、保護者・児童ともに肯定的評価が70～80%程度と、決して低い結果ではありません。しかし、保護者の皆様の自由記述や見守り隊の方々からのお気付きでは、あいさつをしない児童がいることが多く寄せられています。学校側もこのような児童の実態を重要な課題として捉えています。今後は児童とともにあいさつの意味や効果等について話し合いながら、各学年・学級であいさつの取組を工夫していく予定です。

#### 4 「分からない」の回答が多かった評価結果

① 分かりやすい授業づくりに努めている。

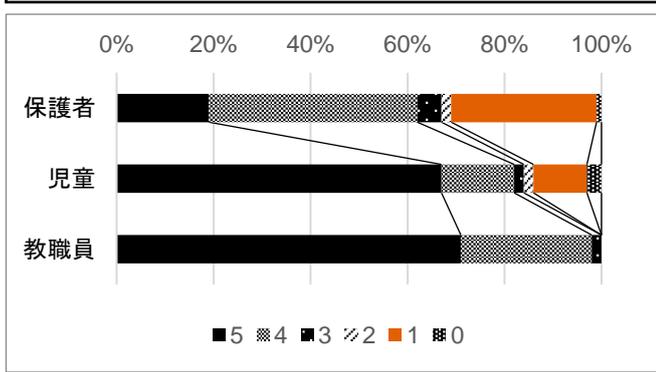


② 友達や先生と一緒に話し合いながら、考えを深める授業づくりに取り組んでいる。



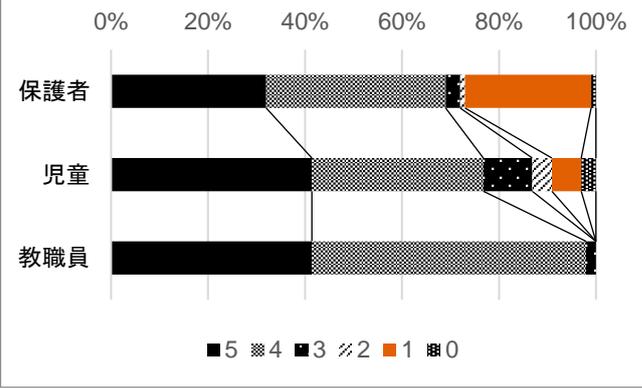
保護者に着目すると、①②とも20%程度が「分からない」という回答でした。コロナ禍で参観日等が中止になったことが原因として考えられます。今後は、学校での子どもたちの様子を参観いただく機会は確保できるのではないかと思います。引き続き、子どもの学力保証に向けて「誰もが分かる授業」「仲間と対話し、学び合う授業」を重視していきます。

③ ICT機器を活用した授業づくりに取り組んでいる。



保護者については30%程度、児童については10%程度「分からない」と回答していることが分かります。これは、保護者の皆様にタブレット端末を活用した授業を公開していないこと、児童にとってはタブレット端末の活用に学年差があることに起因しています。「児童が活用するタブレット端末」は、どの学年でも必須技能です。学年に応じた使い方を今後確実に行っていきたいと思います。また、9月から1月でタブレット端末の家庭への持ち帰りを実施しています。

④ 子どもが黙ってそうじをできるように取り組んでいる。



保護者に着目すると、30%程度が「分からない」という回答結果でした。これも参観日等の中止によるものと考えられますが、今年度の重点取組事項の一つなので、保護者の皆様方への周知不足が否めません。今後は、浅江中生徒や保護者・地域の方々と一緒に取り組む清掃活動を予定しています。さらに、全校縦割り班そうじを導入し、中学生から学んだそうじのコツを高学年児童に広めてもらいます。また、その子どもたちの姿を皆様に発信していく予定です。



## 自由記述「保護者の皆様からのご意見・ご要望」について

\*紙面の関係で一部の記述のみ取り上げて、掲載することをお許してください。

### ①あいさつについて

・朝の交通当番のとき、子どもたちの元気なあいさつが聞こえないのが残念に思います。マスクのせい、年々声が小さくなり、聞こえないことも増えています。など

⇒あいさつに関する意見を他にもたくさんいただきました。アンケート項目にもありましたが、あいさつをがんばっている子どもと、そうでない子どもに二極化しているのではないかと思います。あいさつは人とのコミュニケーションの第一歩なので、その子の実態に合ったあいさつの仕方を工夫していけるよう、学年・学級の取組を今後見直していきたいと思います。これからも引き続き、長い目で子どもたちへの関わりをお願いいたします。

### ②コロナ対応について

・コロナ禍での学校との関わり方も慣れてきたように感じます。学校としてできることを最大限しようという先生方の意欲も感じます。保護者としてできることを協力していきたいと思います。など

⇒コロナ禍での学校の取組について、賛否両論いただいています。マスク着用や行事・学習への対応などについてのたくさんのご意見に感謝いたします。上記ご意見とおり、感染症対策や気温の変化に応じた対策を講じながらも学校としてできることを確実に、最大限行い、子どもたちにたくさんの体験や多くの学びをさせていきたいと考えています。また、子どもたちの心のサポートについても全教職員で行っていきます。今後とも、ご支援・ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

### ③安心・安全な学校について

・登下校の先生方のサポートは本当に有難く思います。連絡帳等を通して、コミュニケーションがしっかりと取れ、とても安心しています。

・下校時に縁石の上を歩いて帰る子どもを見かけました。とても危険なので、学校や家庭で再度注意を促すことが大切だと思います。など

⇒子どもたち・保護者の皆様にとって、安心・安全な学校であることを第一に考えています。登下校中の安全、いじめ・不登校・教育相談等の生徒指導の在り方などについて、今後より一層根気強く、きめ細やかな対応に努めていきます。お気づきがありましたら、いつでもご相談ください。

### ④アンケート全般について

\*多くの保護者の皆様方に「7月末学校評価アンケート」にご回答いただき、誠にありがとうございました。

\*学校に対する意見や要望等はいつでも承りますので、お気軽にご相談ください。

